

概要報告書

2018 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	一般財団法人青少年問題研究会
事業名	季刊誌『青少年問題』の刊行
<p>当財団は、公益財団法人 日工組社会安全研究財団の助成により、季刊誌『青少年問題』第 671 号(第 65 巻夏季号、2018 年 7 月)、第 672 号(第 65 巻秋季号、2018 年 10 月)、第 673 号(第 66 巻新年号、2019 年 1 月)の編集・発行事業を行った。</p> <p>第 671 号の巻頭論文は横山実「青年」という年齢段階と法の年齢区分—少年法の適用年齢を題材として」、特集テーマは「青年」という年齢段階を考える—学際的視点から」として、八木淳子、川端有子、北島歩美、須藤明、浜井浩一の 5 本の論文を掲載した。</p> <p>第 672 号の巻頭論文は中村正「つながりすぎないこと」、特集テーマは「若者のデート暴力とストーキング」として、荒井崇史、相羽美幸、相馬敏彦、赤澤淳子、金政祐司、島田貴仁、入澤今日子の 7 本の論文を掲載した。</p> <p>第 673 号の巻頭論文は田村毅「ひきこもりと日本社会」、特集テーマは「ひきこもりの現状と課題—近年の傾向を考える」として、工藤宏司、関水徹平、斎藤知彦、成田沙耶子の 4 本の論文を掲載した。</p> <p>その他各号、連載の「現場から見た青少年問題」等を掲載した。</p> <p>毎号豪華執筆者をそろえ、わかりやすく、かつ内容が濃いことが季刊誌『青少年問題』の誇りである。</p>	

注)上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。